



[ねんりんピック富山2018体験談その1](#)

[ねんりんピック富山2018体験談その1](#)

今年もねんりんピックの魅力を伝える為に、新種目ビーチボールの予選から参加して静岡県の代表に滑り込みました。チームの最高齢であり、バレー経験の無い私は監督として参加しました。「富士山っち」チームは代表に決まって、ビーチボールの練習を毎週行い、一緒に参加する「富士ウインディ」チームと練習試合を重ねて来ました。その成果を発揮すべき出発の日を迎えました。写真左は平成30年11月2日(金)新幹線三島駅に集合したビーチボール代表の「富士山っち」チームメンバー(左から遠藤信夫主将、遠藤真毅氏、富永高則氏、山下正倫氏、林義雄氏、そして監督の私)。

写真右はチーム員の後方に姿を見せる富士山です。チーム名の由来でもあります。



[ねんりんピック富山2018体験談その1](#)

弓道の代表も三島駅から乗車しました。



[ねんりんピック富山2018体験談その1](#)

東海道新幹線「こだま」に乗車して、米原で下車して、バスに乗り換えました。



[ねんりんピック富山2018体験談その1](#)



[ねんりんピック富山2018体験談その1](#)

次に向かったところは宿泊地の石川県金沢市です。ねんりんピック全国大会参加の魅力の一つは、主催県近隣の観光地の訪問です。富山県の隣に位置する石川県の名所と言え兼六園です。大きな公園なので、全部を見る時間は有りませんでした。チーム員と記念写真を撮影しました。



[ねんりんピック富山2018体験談その1](#)



[ねんりんピック富山](#)

兼六園は立派な松が多くあります(写真左)。11月初旬を迎え、冬支度が始まっていました(写真右)。植木職人が観光客の前で雪吊り作業をしています、それが観光になっています。観光を終え、一路、宿泊するホテルへ。参加者が多いので3つのホテルに分宿しました。そして、静岡県選手団の出陣式へと続きます。

東部・田方地区生きがい特派員 加藤 孝